

令和 3 年度 墨田区立梅若小学校 経営報告書

令和 4 年 3 月 1 5 日

学 校 目 標	人にやさしく、自分に強く
目 指 す 学 校 像	<p>○梅若クオリティー 教育の質の向上を図る学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人を大切に、たしかな学力と豊かな心情を育成し、梅若小学校で学ぶ喜びと誇りのもてる教育質の高い学校 <p>○梅若プライド(誇り) 教育者としての誇りをもつ学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梅若小学校教職員として自覚と使命をもって互いに協力し合い、梅若小学校で働く喜びと誇りのもてる学校
目 指 す 子 供 像	<p>○自ら学ぼうとする意欲をもち、進んで挑戦する子供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶことが楽しい、もっと知りたいと思えることが主体的な学習である。子供たちの学びの意欲が高まる教育を目指す。 <p>○よく聞き、しっかり伝え、お互いに大切にすること子供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達のことを知る、自分との違いを受け入れることから、円満な人間関係は始まる。一人一人を大切にする教育を行う。 <p>○自分の役割と責任を果たし、協力し合う子供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たち一人一人に適切な役割があり、達成し、完成させ、果たす満足感と責任感を味わわせ、自己肯定感を養う。
目 指 す 教 師 像	<p>○愛情をもって子供と関わり、温かくも厳しく指導する教師</p> <p>○向上心を常にもち、自己研鑽に努める教師</p> <p>○教職員として自覚と使命をもち、保護者や地域から信頼される温かい教師</p>

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	C	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科において課題解決型授業を行うことで、主体的に自力解決して友達と学び合う対話的な深い学びを一層充実させる。 ・ICTを活用した多様で多面的な学習を推進する。ロイノートによる友達との交流や思考ツールを活用した論理的に考える力の育成を図る。 ・梅若メソッド18を実行させ、効果的に学力向上を図る。練習問題や復習問題を授業前後に必ず行い、基礎基本の定着を図る。 	B	A
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の特性を分析し、個別最適化された支援や指導を充実させる。 ・月1回の特別支援委員会や毎週金曜日の生活指導夕会において諸課題について共有し解決する。 ・特別支援教室と日本語学級の協業を進め、複合特性の児童に対する困難に対応する。 	B	B
	学校は、子供の将来の自立に向けた進路指導・相談活動に取り組んでいるか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスポートを活用したり、中学校との連携を行ったりして見通しをもったキャリア教育を行う。 ・将来に対して希望と夢をもつことができるように、キャンペーンを開催したり、校長講話をもって意識を高めたりする。 	B	B
	学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・授業力向上のために課題解決型学習研修会を年間12回以上行い、各教科において課題解決型指導による授業力向上を引き続き行う。 ・特別支援教室、日本語学級を含めた通常学級との協業授業の研究を行う。 	B	B

様式 4

	<p>学校関係者評価委員会の意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTによる授業をぜひ体験したいとお恋いましたが、コロナ禍でできませんでした。感染が収まったところで公開授業などで参加したいと思えます。ICTなどの道具がうまく使えなくて、逆に学力に差がつくことがないようよろしくお願いします。また、私の読み聞かせでもつかえたら便利だなと思っています。 ・努力していることは分かります。社会の学力を上げると言うことと言えば、新聞を読む習慣をつけることが大切だと思います。最近、新聞を取る家庭が少なくなっています。図書館に新聞を複数置いて読むことを勧めてはどうでしょうか。日本新聞協会の広告では、このための国の予算を確保されていると聞きます。 ・階段に都道府県名などが書かれているのは見えています。ここまでして覚えてもらう努力をしているのかと思いました。
--	-----------------------	---

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援委員会を月1回の定例開催とする。また、毎週生活指導夕会を開き最新情報を共有する。共通指導を行う。 ・わずかな問題行動でもケース会議を開き、多くの組織や機関、スクールカウンセラーなどとの連携を深めるとともに、いかなる問題にも組織を上げて対応する。 ・専門家による巡回相談を活用し、年間3回以上行う。 	B	B
	学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き挨拶キャンペーンを年間3回以上行い、定着した挨拶の習慣を維持する。 ・思いやりの木の取組を年間2回以上行い、優しい心を育てる。 ・全校朝会時の校長講話を活用し、いじめ防止に関する講話を月に1回以上、継続して行う。 ・たてわり班活動や異学年交流ができない現状においてもICTを活用したり、工夫したりして人を思いやる望ましい人間関係作りの素地を培う。 	B	A
	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・臨場感や危機感のある避難訓練計画を作成し、児童の防災能力の向上を図るとともに、教職員の救助能力を向上させる。 ・児童の脱出防止の対策を強化する。門等の施錠を厳格に行う。 	B	B
	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・HPや学校便り、学年便りなど学校発信の媒体を工夫改善し、コロナ禍であってもできる限りの情報発信を心がける。 ・ICTやタブレット端末を活用した情報発信や情報収集方法を確立し、意見や要望を迅速に学校経営に反映できるようにする。 ・学校公開や各行事後のアンケート等で寄せられた意見に迅速に対応し、学校だより等を通して周知する。 	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・この課題は、家庭の協力がなければ解決できない課題です。家庭でのしつけがしてあれば、学校でも表れます。アンケート全体に学校の責任に重点が置かれていますが、このことに関しては家庭が中心だと思うのですが。 ・地域の子供たちが安心して過ごしていけるよう、今後とも情報共有など連携していきながら子供たちの見守りを行っていきたく思いますので、よろしく願いいたします。 ・日頃から子供たちの情報交換等、ありがとうございます。引き続き連携して子供たちの支援ができればと思っています。今後ともよろしく願いいたします。 ・特別支援教室や日本語学級を併設している条件を生かした教育をぜひ取組を強めてください。 		
項目	評価項目	達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の	学校は、管理職の経営方針に基づき、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌をさらにブラッシュアップして効率的で、教職員各自の力量に応じた組織として、業務効率の高い学校運営を目指す。 ・各学年や部署の課題は、組織で課題解決に当たり、解決能力の高めると共に、職員の能力を最大限に活用して学校組織力向上させる。 	B	A

様式 4

管理運営	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標を広く周知徹底させるため、保護者や地域への発信を積極的に行っていく。また、校長は、教育目標に関する講話を行う。 ・児童の状況を把握するために、年間2回以上児童アンケートを実施し、教育目標の達成度を測る。 	B	B
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学習だけでなく、行事や特別活動コミュニケーション活動などICTを各方面で活用し、校内で効果的、効率的運用する。また、ICTを活用した学習方法を開発し、学力の向上につなげる。 ・生活指導部や担任が施設設備や環境の安全点検を毎月行うだけでなく、課題点を教職員で共有し改善に当たる。 	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍では学校管理は大変な負担となっていると思います。学校によっては私なども入れず、不快な思いをすることもあります。 ・教職員の方々が楽しく働いているかが問題です。そういう意味では先生方のアンケートも必要かもしれません。教職員が団結して教育活動を進めるために先生方の働き方が現在問題となっているだけにぜひこの点もよろしくをお願いします。 ・先生方の10周年行事を成功させようとい丸となって取り組むお姿がとても印象に残っています。 ・今、子供たちのコロナ感染が増えている中、学校の対応も大変だと思っています。先生方も感染し、学校も授業ができない話も聞いています。学級閉鎖等で学校に来られない子供たちは家庭内でもストレスがたまる生活をしているかもしれません。そんな中、子供たちが「ホッ」とできる時間をお願いしたいと思います。 		

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・COCOOを活用した情報発信を活用して、紙媒体で配布していたお知らせ等を電子添付として配信する。また、HPにおいて「学年の扉」コーナーを新設し、日頃の学校生活状況を月1回以上の頻度で更新する。 ・学校だよりをA3版両面に変更し、写真やレイアウトとともにあらゆる教育活動について掲載した。更により充実した情報の発信を行う。 	A	A
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	C	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用し、コロナ禍においても地域の読み聞かせボランティアをはじめ、多くの方にオンデマンドを利用するなど協力を得られるように工夫した取組を行う。 ・学校運営連絡協議会やPTAと情報を共有して議論や話し合いをこれまで以上に活発にする。子供たちの指導や支援を学校内外で連携的に進める。 	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、様々な取組を行ってくださり先生方の努力には頭が下がります。PTAさんも多くのアイデアを出し、楽しみを増やす努力をしてくださって、梅若すごい!と思います。学校、PTAと地域が連携してより子供たちのために良い環境を作れるようにしていけたらと願います。 ・長期にわたるコロナ禍への不安の中、安全第一に考えご指導いただき本当にありがとうございます。 ・マスクを外した生活までまだ我慢の日々になりますが、子供たちが元気に学校生活を送れるように今後ともよろしく願いいたします。 ・コロナ禍での運営に多くの困難があるかと思いますが、保護者、地域とうまく連携して子供たちが楽しく学び遊べる環境づくりをより一層勧めてくださることを期待しています。 ・このコロナ禍でも子供たちと向き合ってくださっている先生方に感謝いたします。そして、改めて子供たちが学校に通えることのありがたさを感じています。いつもありがとうございます。 		

様式 4

2 令和3年度学校評価のまとめ

- ・引き続きコロナ禍において、学習や特別活動などにおいてコミュニケーション活動や学び合い、集会活動など子供同士が意志を通じ合わせる活動を行うことが十分できなかった。昨年度から導入されたICTは急速に活用範囲を広げ、不十分な意思疎通を補うように工夫してきた。保護者や地域との連携においても制限の中で「できることをできるだけ」の方針の下、ホームページの刷新や学校便りの大幅変更、学校公開の分散化などを行ってきた。効果や成果は十分とは言えない中で、来年度もさらに工夫した「開かれた学校」と「止めない学び」の実現を進める。
- ・情報公開のあり方や保護者との連携や意思の疎通の充実は、大きな課題である。COCOOというコミュニケーションツールを導入して活用してきたが、効率的効果的な活用を今後も模索していく。
- ・学校公開、授業参観は、学校の様子を知っていただく重要な機会であることを踏まえ、来年度はさらに充実化させなければならない。
- ・来年度以降も新しい学校生活様式を確立しながら、学びを保証し、感染症防止に取り組まなければならない。特に入校者の管理については厳密に行い、検温や消毒、導線管理などによって感染症を校内で拡大させないようにしていく。
- ・開校10周年記念行事などとおして児童は、穏やかで落ち着きのある学校へと大きく伸びた。特に挨拶は自ら進んで行う児童が82.6%と近年では最も高い割合となった。運動会や街頭パレード、展覧会など児童の表現力も大きく伸びた。「心技体学」を目指す本校として最大の課題は、学力のさらなる向上である。新梅若学習メソッド12と新梅若授業改善メソッド4を新たに開発し、基礎基本の徹底から向学心の豊かな児童の要望に応える手だてまで様々なアイデアを屈指して学力の向上に邁進する。
- ・各町会との連携については、災害時の防災協力や避難所運営に関して合意することができた。来年度は各町会と協力して、避難所運営訓練を行う。学校を実際の避難所として開放し、各町会が定められた役割を果たしていく上での課題を明らかにしていく。これは墨田区内では最も先進的な取組として防災課と協働して進めていく。

以上の通り報告いたします。

墨田区立梅若小学校 校長 安藤 芳典 公印